

ひたちなか理科クラブ 「こどもエコこらぼ」の活動紹介(2024 年度)

「こどもエコこらぼ」の主な活動方針は、「生命と自然を尊重する精神の育成」や「持続可能な環境づくりの力の養成」です。この活動に携わる対象者は、主として市内の高学年小学生にしていますが、保護者同伴も認めております。会費は、保険料を含む教材費として年 2,000 円を徴収しています。実施は原則第 4 日曜日の午後、活動の場所は現地での観察会が中心になりますが、「ふぁみりこらぼ」では座学や工作を行います。講師には毎回県の環境アドバイザーを招いております。

今年度の環境活動結果を下表に示します。

実施日	テーマ	場所	参加人数
4/28	年間計画の説明	ふぁみりこらぼ	17 名(小学生 8 名)
5/26	生きものの観察①	親水性中央公園・ふぁみりこらぼ	24 名(小学生 10 名)
6/16	植物の観察①	東石川第 4 公園	23 名(小学生 10 名)
7/21	生きものの観察②	平磯海岸・平磯コミセン	14 名(小学生 5 名)
8/25	植物の観察②	ふぁみりこらぼ	19 名(小学生 8 名)
9/22	生きものの観察③	ふぁみりこらぼ	15 名(小学生 5 名)
10/20	植物の観察③	ふぁみりこらぼ	19 名(小学生 9 名)
11/2,3	葉脈づくり	科学の祭典ひたちなか大会	2 日間で 140 名
11/24	まとめ・工作	ふぁみりこらぼ	23 名(小学生 10 名)

主な活動内容

生きものの観察

① 親水性中央公園内のビオトープ周辺に生息する外来種であるアメリカザリガニを捕獲し、個体数を調べた。② 平磯海岸高磯周辺の海の生きものの観察を行った。同時に同海岸で見つかった化石や歴史について学んだ。③ 同ビオトープ周辺から採取した底質中の生きものを探し、見つけた生きものの名前と個体数を報告した。その結果、同ビオトープ周辺の水質は水質階級がⅠ～Ⅳの生物(カワゲラ・カワニナ・ヘビトンボ・ヨコエビなど)が生息している珍しい場所であることが判った。

植物の観察

① 東石川第 4 公園内の高木の種類や葉の構造・はたらきについて学ぶと共に、採取した葉の標本の作り方の説明を受けた。②東石川第 4 公園で各種ドングリを拾い、トトロやジャロベエの作成を行った。③植物の葉の構造・機構などの説明を受けるとともにそれらを顕微鏡で観察した ④葉脈標本や葉脈しおりを作った。

多面体ハッピーボールの工作

正方形の折り紙を菱形に折り、
6～60 面体のボールを作成する。
右図は工作教室の風景

「ハッピーボール」と「葉脈しおりの工作」
「科学の祭典・ひたちなか大会024」 出展

No. 3-



完成したハッピーボール



完成した葉脈しおり

「こどもエコこらぼ」活動の様子

2024 年度



4月の参加者一同
(4/28, ふぁみりこらぼ前)



希少生きもの探し
(5/26, 親水性中央公園)



樹木の葉の採取
(6/16, 東石川第4公園)



系統樹を前に
(7/21, 平磯海岸高磯周辺)



葉脈の説明
(8/25, ふぁみりこらぼ)



砂泥中の生きもの探し
(9/22, ふぁみりこらぼ)